

ねらい

保育園との協議で「新1年生児童やその保護者は、入学まで学校の様子を知る機会が少なく、不安に思っているのではないか。」という意見が挙がった。その意見を受け、新1年生児童とその保護者が授業の様子を自由に見て回れる機会として「〇〇〇小オープンスクール」を企画し、新1年生児童とその保護者にも公開することで、新1年生児童やその保護者の就学に関わる不安の軽減を図る。

ポイント

- ・もともと設定されていた参観日にオープンスクールを実施。日程調整や授業準備等の手間を軽減。
- ・新1年生保護者への案内は自校の保護者連絡ツールを利用して連絡。印刷や配布の手間を軽減。
- ・育成学級を含む全学級を公開としたことで、保護者への児童の成長過程の理解が促進。

実践内容

新1年生保護者のうち約4割(兄・姉が在校生の保護者も含む)がオープンスクールに参加した。その多くが新1年生児童を同伴しての参観であった。参加者の多くが1年生の授業を参観し、児童の学習に取り組む様子や指導者の言葉かけ、教室内の掲示物などから学校の雰囲気を感じている様子であった。一部の保護者については、校舎内を一回りして、特別教室や体育館、運動場といった設備についても見学していた。参加した新1年生児童からは「学校に通うのが楽しみになった」という声が聞かれた。



【受付の様子】

新1年生保護者に向けて、校舎平面図を掲示し、教室と授業内容を案内するようにした。

担任が指導する授業だけでなく、外部講師を招いた授業も公開することで、本校の特色である体験学習についてもイメージがもてるようにした。



【オープンスクールの様子】高学年の命の授業

事後の保護者アンケートでは、以下の通り肯定的な意見が多くみられた。

「学校の雰囲気について、わかりましたか。」

よくわかった50%、わかった50%、あまりわからなかった0%、わからなかった0%

「授業の様子について、わかりましたか。」

よくわかった33%、わかった67%、あまりわからなかった0%、わからなかった0%

「来年度入学されるお子さんの学校生活について、イメージがもてましたか。」

しっかりもてた33%、もてた67%、あまりもてなかった0%、もてなかった0%

「新入学の児童や保護者に対して、オープンスクールの取組は有効だと思いますか。」

とても有効である33%、有効である67%、あまり有効ではない0%、有効ではない0%

成果と課題

事後アンケートの結果から、「〇〇〇小オープンスクール」の取組は、新1年生児童とその保護者に対して学校の様子や雰囲気、授業の様子を伝え、学校生活についてイメージをもたせることについて有効であったといえる。今後は、周知方法を改善したり、実施回数を増やしたりすることで、新1年生保護者の参加率を上げ、より多くの保護者、児童が不安なく学校生活を送れるようにしていく必要がある。